

会報工房

第 1 7 号
2012年(平成24年)
8月 6日
月曜日

『会報工房』とは？
創像工房 in front of.は演劇、お笑い、映画などを創作する慶應義塾大学の公認団体です。『会報工房』では創像工房 in front of.の活動報告と、公演では見ることのできない工房員の一面をお店します。公演案内と共に楽しんでください。

本号の編集長＝池田瑠璃子
ご意見 sozo_kaihou@hotmail.co.jp

今後の活動 現在進行中の 本企画の情報

9月演劇公演 『報われる人生』

作・演出 秋山拓弥
日 程 9月7日(金)～9日(日)
場 所 慶應義塾大学 日吉キャンパス
塾生会館地下アトリエ合C
あいさつ こうも暑い日が続くと節電も一苦労である。日中は日陰にすることを心掛けつつ、好物のしろくまアイスを手片手に夏を乗り切りたい。



9月映画公演 『恋するスイカの方程式』

作・演出 鈴木田祥悟
日 程 9月26日(水)～30日(日)
場 所 慶應義塾大学 日吉キャンパス
塾生会館地下アトリエ合C
あいさつ こんにちは、創像2年の鈴木田と申します。エンターテインメントとは人にプラスの何かを与えるモノであって欲しい。私はそう考えています。創像でしかできない映画公演をお見せ致します。9月の末、合Cに是非ともお越し下さい。



10月公演 『熱狂』

作・演出 塩浦侑也
日 程 10月5日(金)～8日(月)
場 所 慶應義塾大学 日吉キャンパス
塾生会館地下アトリエ合C
あいさつ 先日祖母が亡くなり葬式がありました。納骨の際、式場の方が骨壺に骨が全て納まるように整理しようとしたら、こうすりゃ早いだろうと言って祖父が祖母の骨をぐちゃぐちゃに砕いて納骨しました。ロックンロール。

10月公演 『さすらい輪舞曲(仮)』

作・演出 中村允俊
日 程 10月25日(木)～29日(月)
場 所 慶應義塾大学 日吉キャンパス
塾生会館地下アトリエ合C
あいさつ 今まで頭でかちに物語を作っていたのですが、それでは何か越えられない気がして……。それで今回は心から作って頭でまとめたこうと思います。自爆します。おれ死ぬけど爆発するんで、凄くなると信じてます。

創像工房 in front of.×相鉄本多劇場 『お姉ちゃん讃歌』

作・演出 駒場源貴
日 程 11月30日(金)～12月2日(日)
場 所 相鉄本多劇場
あいさつ 卒業する今年度、今後の創像に遺せるような公演を打ちたく、今回創像久しぶりの外劇場である相鉄本多劇場でデツカくやります。ひたすら楽しめる、人をげんきにするような芝居をやりたく思いますので、ぜひ冬、相鉄本多劇場にお越しください！

暑い日が続きますが、皆さんいかがおすごしでしょうか？創像工房も暑さにめげず、秋の公演に向けて着々と準備を進めています。今号は創像工房、OB団体のさんの秋の公演情報、公演企画責任者からのコメントを一举にご紹介！お時間があればぜひ足をお運びください。

OB団体の活動

とくお組 第19回公演 『常夏の星』

作・演出 徳尾浩司
日 程 8月22日(水)～30日(木)
場 所 下北沢・駅前劇場

出 演

篠崎友 堀田尋史
鈴木規史 柴田洋佑
徳尾浩司 大沼遼平
稲葉佳那子
本折智史(青春事情)
加藤啓(拙者ムニエル／モッカモツカ)



あいさつ こんにちは、とくお組の徳尾と申します。「常夏の星」という舞台は10年前、合Cで上演させてもらった作品です。創像OBを中心とした今のメンバーで、当時の熱気を駅前劇場に持ち込みたいと思います。是非、遊びに来てください！
詳しくはコチラ
<http://www.tokuogumi.com/summer.html>

あんかけフラミンゴ 第2回公演

『つまんなかったら言ってね、死ぬから』

作・演出 島田真吾
日 程 9月13日(木)～17日(月)
場 所 下北沢 Geki 地下 Liberty
あいさつ どうも！あんかけフラミンゴの島田真吾と申します。創像工房のOB一年です。劇団をやっています。爽やかで甘酸っぱくてちよつぱりほろ苦い、青春ラブコメ劇団です。次回公演よろしく願いいたします！
詳しくはコチラ
<http://ankakeflamingo.com/next/>



《工房員出演公演のご案内》

キヅキハジメ、牧遼平 出演 ハイブリッドハイジ屋

『シアターグリーンにて～立った立った、ハイブリッドクララが立った!～』
シアターグリーン学生芸術祭Vol.6参加作品
2012年8月17日～19日
@池袋 シアターグリーンBASE THEATER

笹木皓太 出演
+1(たすいち)
『ペルソナサークル』
ロ字ック主催「鬼(ハイパー)FES.2012」参加作品
2012年8月25日
@千歳船橋 APOCシアター

中島可那子 出演
GENKI Produce×荒川チョモランマ
『神様たちのすむところ』
2012年9月11日～30日
@江戸川橋 パフォーミングギャラリー&カフェ『絵空箱』

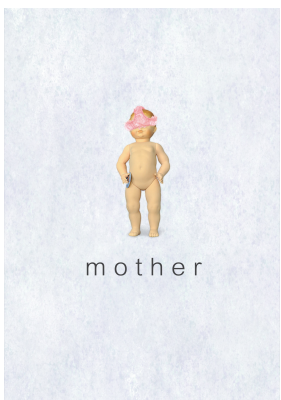
笹木皓太、大山あず紗 出演
あんかけフラミンゴ
『つまんなかったら言ってね、死ぬから』
2012年9月13日～17日
@下北沢 Geki 地下 Liberty

夏の恒例イベント!! 8月13日～14日

夏ワークショップ

新人公演も無事終わり、つらく長いテスト期間を抜けて、ついに夏休み!

8月中旬に本番を迎える創像工房の恒例行事、夏WSが本格始動し始めました。夏WSでは、一年生が先輩からスタッフワークを教わり、公演を作りあげることを通して実践的に学んでいきます。そんな夏WS公演の内容は短編2作品のオムニバス形式となっており、途中には一年生の撮影した映像作品も上映されます。今回は、演劇作品『mother』の作・演出を務める一年生の脚本生徒小野君と、『バグ』の作・演出を務める葛さんにインタビューを行いました!



『mother』 小野 翼



Q 創像工房に入ったきっかけは?

A ずっと演劇やってたので、演劇サークル入りたいと思っていました。そのなかで、高校の先輩の砂川れなさん(早稲田大学演劇倶楽部所属、新人公演2011客演)が創像めっちゃ楽しいよって言うて、慶應に入学したら創像工房に入ろうと思っていました。実際とても楽しいので、入ってよかったです!

Q 今回の作品を説明すると?

A 人生というのはとても辛くて厳しいですが、それでも強く生きていこうと思っています。脚本書くにあたって、伝えたいメッセージから先に決めて、はじめはSF路線で書いたのですが、B級映画っぽくなってしまったので、日常を描くという路線にしました。実験も結構入っています!

Q 作品を作っていて一番楽しいことは?

A 演劇が好きなので全部楽しいんですけど、会議だって舞台会議。一番大変だけど一番楽しいです。ずっとみんながいて、脚本に対するコメントももらえて、本気で考えられるのが楽しい。

Q 一番大変だった会議は?

A チラシ会議。ライン(無料通話・チャットアプリ)で会議してたんですけど、良いポイントが見つからず、なかなか終わらなかったのが大変でした。でもおかげさまで可愛いチラシができました!

Q 最後に一言!

A この作品を見た後、小さく「よっしゃ!」と、明日からもがんばろう、と思える作品を作っています。ぜひ見に来てください!



『バグ』 葛 里 華



Q 創像工房に入ったきっかけは?

A 高校のときから2年間漫才やコントを友達とやっていて、コントの延長線としてやり続けられるかな、と思って創像工房に入りました。お芝居は実はあまり馴染みがないです(笑)

Q 今回の作品を簡単に説明すると?

A ごく普通の男がいろんな非日常なできごとと振り回されて、キャバ越える話。コント? コメディ? ドタバタ系? 笑ってもらえれば何でもいいです! 最初は世界一臭いおならをする人の話だったのですが、設定に限界を感じてやめることにしました。

Q 作品作りで一番楽しいことは?

A 土肥(舞台監督生徒と一緒に作っていく過程が一番楽しい。二人でつくってます!! 会議の中だったら、音響・衣装とかが楽しく馬鹿みたいなことを言いながら考えて楽しんでます。

Q 大変なことは?

A 舞台会議は10時間とかの長丁場になります。

Q 最後にひとこと

A 本当に俺と土肥の思うバカなことをしてるので、バカな目で見に来て欲しいです。

終了 企画

5月 本企画

『いとしのもりー』

3年の栗田優香さん作・演出による5月企画「いとしのもりー」が無事閉幕しました。男社会といわれる創像工房においては珍しく、女子らしさを前面に押し出しながら鋭く牙をむく、肉食系女子栗田さんらしい作品に仕上がっていました。この企画では早稲田演劇倶楽部から役者さんが客演したり、スタッフにSFCのミュージカルサークルEMからの参加者がいたり、チラシをイラストレーターの方に外注したりと、外部との交流も多い企画だったようです。

そこで、公演を終え、忙しさから解放された栗田さんに少しお話を伺いました



お疲れさまです!
公演終わってみてどうですか?

↓長かったです。あと、毎日参加者に会ってたのに急にぼっちになっちゃいました。

企画中大変だったことはなんですか?

↓やりたいことをハッキリさせるまでが特に大変でした。

エンクラやエムからの参加者の人もいましたが、刺激はありましたか?

↓カラフルな企画になったかなあと。創像愛してるぜって言うてもらえて嬉しかったです。

参加者全員を愛してやまない栗田さんの充実感を垣間見た気がしました。栗田さんは今後も外部劇団での参加やコンクールへの参加が決まっています。頑張ってくださいですね。(池田)

プロジェクトチーム 復刻いとしのマーク

最近よく聞く「ういし」。その実態はあまりよく知られていない。何だ、ういしって何だ!? ということで、何かういしとやらを取り締まっている3年の数田くん往直撃!

「復刻ういしのマーク」って何ですか?

今年の二月に復活したプロジェクトチームです。ういしとはスタッフワーク向上委員会の略らしいですが、僕はよく知らないです(笑)

活動の目的は何ですか?

創像工房のスタッフ技術を共有し、向上させていくためです。夏WS以降、全体として技術を共有する機会がなく、先輩の方々が卒業するたびに技術が失われていくのを何とかしたいと思い、復活しました。

最近の活動を教えてください。

昇降幕装置に動滑車を導入する実験、スモークドライアイスを利用した演出WS、カメラの使い方WS、バネ蝶番・ドアクロージャーのドアの作り方WS、新型ミキサーの使い方WSなど色々

どんな形式でやってるんですか?

現役生を講師にして講義したり、皆で未開拓の技術に挑戦したり、新しい器財の使い方を皆で覚えたりとかです。

新人公演

『薔薇とサムライ』

今年もたくさんさんの新入生が創像工房に入会し、新人公演の稽古場に32人、スタッフに31人の新入生が参加しました。上演脚本は劇団☆新感線の『薔薇とサムライ』。総勢120人強の大企画で演出を務めたのは、3年代で最もアツい男、樋谷英孝くんです。



おつかれさまです!! 新人公演2012『薔薇とサムライ』無事閉幕いたしました。改めまして、ご来場された方々、そして協力してくださったすべて皆様にお礼申し上げます。

あれから一ヶ月経ちました。日を増すごとに合Cを包んだあの熱気やあの勢いが、余韻となって遠くののを感じます。思い返す度に感慨深くなっています。思えば、まっすぐで、煌いていた新人公演でした。たくさんの方に支えてもらって、たくさんの方の本気で成り立つた公演だと心の底から思います。その本気があしてお芝居として形になり、たくさんの方に拍手をいただいたことは一生忘れません。本当にありがとうございました。だけれど終わりは始まり、始まりは終わりです。新人公演という物語は新しい旅の始まりをもつて、終わりを迎えたわけです。それぞれの新しい旅に向かって、また全力で走り出しましょう!! お前ら、出航だああ!!

ひときわアツくてクールだった今年の新人公演は、樋谷君らしさが出ていてお客さんにも好評をいただきました。今後、新入生たちが創像工房でどんな活躍をするのか楽しみです。(池田)

何か今までの成果がありますか?

動滑車導入実験で、幕の昇降速度が二倍になりました。手間がちよつとかかるようになりましたが他にはバネ蝶番で両開きのドア、ドアクロージャーで自動で閉まるドアが作れるようになったりとか色々本企画に活きてくると思います。

どんな人が参加してるんですか?

主に僕といとちゃん・数田と伊藤で回っていて、WS毎に講師も参加者も変動しています。

活動の醍醐味は?

本企画では時間や人手がなくて、なかなか実験できない装置や技術に挑戦できることだと思います。

今後の活動予定は?

8月30日にWSやる予定です

Youtubeにういしの活動報告動画があがっているそうです。そちらもぜひみてください! (池田)